

## シラバス基本情報

## 【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 香川の文化と歴史				
	(英文名) Culture and History of Kagawa				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 藤本 憲市				
	(ローマ字) Ken'ichi Fujimoto				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1年次生以上	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	香川、瀬戸内地域、離島、生活文化 Kagawa, Setouchi Area, Islands of Seto Inland Sea, Lifestyle and Culture				
21. 授業概要	香川の地域特性のひとつとして、瀬戸内海とこれにまつわる生活環境や文化を挙げるができる。本 科目では、瀬戸内海地域に焦点を絞り、歴史と生活・習俗について概観する。毎回、各分野・地域の専 門家が文化と歴史にまつわるトピックについて講義をおこなう形式ですすめていく。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	瀬戸内地域を中心とした香川に関する知見を深めるとともに、同地域が抱える課題とその解決に向けた 取り組みの様態について理解することを目的とする。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	瀬戸内地域を中心とした香川の地域的特徴と課題について説明ができる。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 ガイダンス、香川の歴史</p> <p>第2回 景観論の観点から瀬戸内地域を概観する</p> <p>第3回 香川における文化振興の現状を理解する</p> <p>第4回 離島と離島振興について理解する</p> <p>第5回 香川の島々の暮らし① 男木島</p> <p>第6回 香川の島々の暮らし② 豊島</p> <p>第7回 瀬戸内の漁労文化と島の暮らし</p> <p>第8回 魚食文化について</p> <p>※授業構成の関係上、授業内容が変更・前後することがあります。もし変更する場合は第1回ガイダンスで案内します。詳しい受講方法(小テストの受験の仕方、受験期間、配信映像の視聴期間等)についてはmoodle内の本科目ページにて説明をしています。受講にあたっては、必ずそちらも一読してください。</p>	☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>各回の授業内容について理解を深めるため、各自、インターネットや書籍等で適宜、情報収集に努めること。</p> <p>自学自習(準備学習16時間+事後学習16時間)</p> <p>【授業時間外学習について】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前学修として、香川県に關係する歴史的な出来事について文献等により調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>2. 事前学修として、瀬戸内海の景観について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>3. 事前学修として、香川県にまつわる文化について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>4. 事前学修として、香川県の離島について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>5. 事前学修として、瀬戸内の島々の暮らしについて文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間×2回)</li> <li>6. 事前学修として、瀬戸内における漁労の現状について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>7. 事前学修として、香川県における魚食の特徴について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。更に、第1-7回の授業内容を総復習するとともに期末レポートを作成する。(計4時間)</li> </ol>	☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の小テストおよび期末レポートにより評価する。</p> <p>配点:109点満点(小テスト64点(各8点×8回)+期末レポート45点)。</p> <p>合格基準:109点満点を100点満点に換算した上で60点以上を合格とする。</p> <p>なお、小テスト未受験回数が3回以上の受講生には、期末レポートの提出資格を与えない。期末レポートを提出しても評価対象としない。</p> <p>すべての小テスト及び期末レポートはMoodle(LMS)を用いてオンラインで実施する。</p>	☑

29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学学生向け	無し				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>所属大学において本授業科目の履修が許可され、所定の期日までに履修登録及びMoodle上でのコース登録が完了していること。パソコンの基本的な使い方など、e-Learning授業を受講するための知識とスキル(動画視聴、ファイル閲覧、オンラインテスト受験、課題提出など)を有していること。</p> <p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学50名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名</p> <p>2018年度以前に、「香川の文化と歴史」(2単位)を単位修得している場合は履修できない。</p> <p>2019～2020年度に、「香川の文化と歴史 その1」、「香川の文化と歴史 その2」のいずれかの単位を修得している場合は履修できない。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講及び期末試験の受験(レポート提出)はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト</p> <p><a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該科目	無し	<input checked="" type="checkbox"/>		

37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム等)にて問い合わせをすること。	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	Moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム等)にて問い合わせをすること。	<input checked="" type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kgw-br-c@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	kgw-br-c@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	本科目はオムニバス形式の授業であり、半数以上の授業回を実務経験のある講師(地方公共団体公務員、学芸員等)が担当している。画像や映像、資料等を多用しながら、それぞれの現場での近年の実践事例や調査研究の成果を提示している。		<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	無し		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野 ／科目区分／区分等	主題科目		6. DPコード／分野コード ／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文名 ／英文併記	(日本語名) 四国の歴史と文化 その1				
	(英文名) History and Culture of Shikoku area first period				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) 歴史編				
	(英文名) History				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 守田 逸人, 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) MORITA Hayato, Hayashi Toshihiro, FUJIMOTO Kenichi,				
10. 時間割コード／申請コード ／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区分	無し	
14. 対象学生	1年～全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1年～	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学	四国の歴史と文化 その	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学	四国の歴史と文化 その2
	学生向け	2 文化編		学生向け	文化編
	連携大学	四国の歴史と文化 その		連携大学	四国の歴史と文化 その2
	学生向け	2 文化編		学生向け	文化編
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	四国、瀬戸内海、香川県、歴史 Shikoku area, The Seto Inland Sea, Kagawa prefecture, History,				
21. 授業概要	四国の歴史・文化について講義する。各回では、四国で活躍した人々の事績や、都と四国との結びつき、四国に残された遺跡・史跡など、四国の歴史に関わるテーマを取り上げる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び主旨 ／授業科目の主題	四国の各大学に在籍する自分が暮らす地域の歴史について知識を得ることができる。また、現代的課題でもある四国地域と京阪神地域との結びつきなどについて、理解を深めることもできる。本授業での学習を通じて、香川を含む四国地域に関する知識や関心・意欲を高めるとともに、四国の歴史と文化に関する研究の背景や現状について説明できるようになることが目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 四国地域の「歴史と文化」についてのいくつかのトピックを詳しく説明できる。(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応) 2. 地域の歴史と文化に関心を持ち、自己と関連づけて理解し、地域社会の将来について考えることができる。(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」、「21世紀社会の諸課題に対する探求				<input checked="" type="checkbox"/>

	能力」に対応)		
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p><b>【授業計画】</b></p> <p>①ガイダンス(授業概要、受講方法等について) 平安末阿波武士と仏教文化 (大石雅章/鳴門教育大学理事・副学長(教育・研究担当))</p> <p>②屋島合戦にいたる源平両軍の軍略(1) (田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>③屋島合戦にいたる源平両軍の軍略(2) (田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>④屋島合戦にいたる源平両軍の軍略(3) (田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>⑤中世の瀬戸内海水運(1) (田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>⑥中世の瀬戸内海水運(2) (田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>⑦阿波商人の活躍と江戸時代の経済(桑原恵/徳島大学総合科学部)</p> <p>⑧期末レポート (オンライン)</p> <p><b>【e-Learning科目の履修登録に際して】</b></p> <p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため、講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム(ドリームキャンパス)の履修登録とは別にe-Learningシステム(LMS)の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している履修登録の手続きをよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。</p> <p>URL: <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p> <p>また、受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。</p> <p>各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い主体的に学習に努めること。</p> <p><b>【自学自習について】</b></p> <p>各回の授業内容について理解を深めるため、インターネットや書籍等で適宜情報収集に努めること。</p>	☑	
27. 授業時間外学習 にかかわる情報	<p>e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課している。しっかり復習してから小テストを受験すること。</p> <p>自学自習(準備学習16時間+事後学習16時間)</p>	☑	
28. 成績評価の方法 と基準	<p>ガイダンスを除く授業7回分(各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合は、合計得点に関わらず「不可」の評定とする。</p>	☑	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	

30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学80名・徳島大学14名・鳴門教育大学14名・高知大学14名・愛媛大学14名 2018年度以前に「四国の歴史と文化」を単位修得している場合は履修できない。			☑																																																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	* 2018年度以前に「四国の歴史と文化」を単位修得している場合は履修できない。			☑																																																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																																		
教科書1	書名																																																				
	ISBN			著者名																																																	
	出版社			出版年																																																	
	金額		備考																																																		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
参考書1	書名																																																				
	ISBN			著者名																																																	
	出版社			出版年																																																	
	金額		備考																																																		
参考書2	書名																																																				
	ISBN		著者名																																																		
	出版社		出版年																																																		
	金額		備考																																																		
参考書3	書名																																																				
	ISBN		著者名																																																		
	出版社		出版年																																																		
	金額		備考																																																		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>			☑																																																	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	☑																																																	
37. 教員相互参観授業公開日程				☐																																																	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(rekishil-c@kagawa-u.ac.jp)を利用すること。		☑																																																	
	連携大学 学生向け	特に設けない。電子メール(rekishil-c@kagawa-u.ac.jp)を利用すること。		☑																																																	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	rekishi1-c@kagawa-u.ac.jp		☑																																																	

	連携大学 学生向け	rekishi1-c@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の 実務経験 について	無し		<input type="checkbox"/>
41. バリア フリー対応	無し		<input type="checkbox"/>
42. その他/ 備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野 ／科目区分／区分等	主題科目		6. DPコード／分野コード ／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文名 ／英文併記	(日本語名) 四国の歴史と文化 その2				
	(英文名) History and Culture of Shikoku area second period				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) 文化編				
	(英文名) Culture				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 渡邊 史郎, 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Watanabe Shiro, Hayashi Toshihiro, Fujimoto Kenichi				
10. 時間割コード／申請コード ／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区分	無し	
14. 対象学生	1～全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	四国の歴史と文化 その 1 歴史編	19. 関連科目(関連科目 コード番号)	自大学 学生向け	四国の歴史と文化 その1 歴史編
	連携大学 学生向け	四国の歴史と文化 その 1 歴史編		連携大学 学生向け	四国の歴史と文化 その1 歴史編
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	四国 文化 漢文 文学 方言学／shikoku, culture, chinese classics, literature, dialectology				
21. 授業概要	四国の文化について講義する。各回では、四国に関わる文学作品などに関わるテーマを取り上げる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国の風土や歴史に関わる文学や方言についていくらかの知識を得ることで、自らが暮らす地域について深く知るきっかけをつくることは重要である。本授業での学習を通じて、香川を含む四国地域に関する知識や関心・意欲を高めるとともに、四国の歴史と文化に関する研究の背景や現状について説明できるようにすることが目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<p>1. 四国地域の文化についてのいくつかのトピックを詳しく説明できる。(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)</p> <p>2. 地域の歴史と文化に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる。(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」に対応)</p> <p>3. 四国地域の課題を文化的観点からとらえて再考すること出来る。(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)</p>				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス、四国の文化に向けて(渡邊史郎/香川大学教育学部)</li> <li>2 四国の万葉集と古代史(田中省造/四国大学文学部)</li> <li>3 讃岐における崇徳院と西行の物語——『雨月物語』『白峯』を中心に——(北原圭一郎/香川大学教育学部)</li> <li>4 石碑の持つ意味——屋島の石碑を題材に——(池田恭哉/香川大学教育学部)</li> <li>5 物理学者・寺田寅彦の文学(永橋禎子/高知県立文学館)</li> <li>6 黒島傳治と壺井栄におけるプロレタリア文学の側面(渡邊史郎/香川大学教育学部)</li> <li>7 愛媛を歩く——方言の旅——(清水史/愛媛大学法文学部)</li> <li>8 期末レポート(オンライン)</li> </ol> <p>※各回の担当者の所属については、コンテンツ収録当時のものです。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課している。しっかり復習してから小テストを受験すること。</p> <p>自学自習(準備学習10時間+事後学習20時間)</p> <p><b>【自学自習のためのアドバイス】</b></p> <p>受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。</p> <p>……7までのコンテンツを視聴したのち、各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い主体的に学習に努めること。以下に自学自習のための目安の時間を記すが、これはあくまで目安であって、各自の力量に即して理解を深めて欲しい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス、四国の文化に向けて……3時間</li> <li>2 四国の万葉集と古代史……4時間</li> <li>3 讃岐における崇徳院と西行の物語……4時間</li> <li>4 石碑の持つ意味——屋島の石碑を題材に——……4時間</li> <li>5 物理学者・寺田寅彦の文学……4時間</li> <li>6 黒島傳治と壺井栄におけるプロレタリア文学の側面……4時間</li> <li>7 愛媛を歩く——方言の旅——……4時間</li> <li>8 期末レポート……15時間</li> </ol>	<input checked="" type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	<p>授業毎の小テスト(7回:各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合は、合計得点に関わらず「不可」の評定とする。またレポートに剽窃が認められた場合も「不可」となる。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	無し	

30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学80名・徳島大学14名・鳴門教育大学14名・高知大学14名・愛媛大学14名 2018年度以前に「四国の歴史と文化」を単位修得している場合は履修できない。			☑																																																			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	本授業はフルオンデマンドのe-Learning形態で実施するため講義室での対面授業は行わない。詳細は大学連携e-Learning教育支援センター四国ホームページ( <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a> )にある「知プラe科目の履修案内」に記載されているので必ず熟読のこと。 本授業を履修するためには、各自パソコンからMoodle(LMS)への登録が必要となる。登録は期限内に完了すること。もし期限内に登録が完了していない場合は履修を許可しない。また、受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。 各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い自主的・主体的に学習に努めること。 期末レポートについては、第1回のレポートに関するガイダンスをよく理解して取り組むこと。特にどのようなものが剽窃に当たるかを厳密に理解すること。			☑																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書2</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書3</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>			☐																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	☐																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				☐																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。		☑																																																			
	連携大学 学生向け	特に設けない。		☑																																																			

39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	rekishi2-c@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	rekishi2-c@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	講師陣に、文学館に勤務する方を迎えているため、地域における文化政策の方向性についても考えることができるだろう。		<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	無し		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cxxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) コンピュータと教育 その1				
	(英文名) Computers in Education first period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩				
	(ローマ字) Toshihiro Hayashi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	コンピュータと教育 その2
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	コンピュータと教育 その2
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	情報通信技術, CAI, e-Learning, 教育システム/ICT, CAI, e-Learning, Educational Systems				
21. 授業概要	近年、情報通信技術(ICT)を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。なお、7,8回目は教育システム研究などの動向により予定と異なる内容になる場合がある。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	ICTを利活用する教育環境を単に利用者(学習者)として利用するだけではなく、これまでにはなかった21世紀型の新しい教育環境の特徴を深く理解するため、本講義で、近年発展してきたe-Learningなど情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習から、コンピュータと教育について学習する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	(1)教育・学習方法の概要を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。 (2)(1)を支える情報通信技術を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。 (3)教育・学習支援システムにどのようなものがあるか概説できる(香川大学の場合、共通教育スタンダ				<input checked="" type="checkbox"/>

	一ドの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応。		
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）			
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p><b>【授業計画】</b></p> <p>第1回目：講義ガイダンス、「コンピュータと教育 その1」の講義で何を学ぶか？</p> <p>第2回目：e-Learningでいかに学ぶか？</p> <p>第3回目：遠隔講義でいかに学ぶか？</p> <p>第4回目：ICTを活用した教育・学習支援（1）：CAI(Computer Assisted Instruction)概説</p> <p>第5回目：ICTを活用した教育・学習支援（2）：CAIシステムの歴史と新しい教育システム</p> <p>第6回目：ICTを活用した教育・学習支援（3）：知的CAI概説</p> <p>第7回目：四国におけるe-Learningによる教育連携</p> <p>第8回目：新しい時代のe-Learning</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますのでご注意ください。</p> <p>※コンテンツ更新に伴い、内容などに変更が生じた場合は、第1回目の講義ガイダンスで説明します。</p> <p><b>【学習の方法】</b></p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS（Learning Management System）にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修（コンテンツ視聴、オンラインレポート提出）を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の課題（8回：各最高10点）と最終課題（1回：最高20点）を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数（最大8回）が5回未満の場合は得点に関わらず不可とする。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限：無し</p> <p>2018年度以前に「コンピュータと教育」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑

<p>31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの</p>	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>締切間際で提出される課題にファイル名の不備やファイルそのもの間違いが多発しており、課題が受理できないケースも多くなっています。締切後の再提出は認めていませんので、よく確認して余裕を持って課題提出ください。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>32. 教科書(購入の必要のある図書)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>33. 教科書・参考書に関する補足情報</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>34. Webテキスト(URL・説明)</p>	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト  <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>			<input type="checkbox"/>																																																			
<p>35. パソコン必要度</p>	<p>必要</p>	<p>36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目</p>	<p>無し</p>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>37. 教員相互参観授業公開日程</p>				<input type="checkbox"/>																																																			
<p>38. オフィスアワー</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>日時: 金曜1時限目  場所: 幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室  不在時は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	<p>連携大学 学生向け</p>	<p>(zoom等web会議システムで対応できる場合のみ)</p>		<input type="checkbox"/>																																																			
<p>39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	<p>連携大学 学生向け</p>	<p>電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			

40. 教員の実務経験	無し	<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	電子テキスト型コンテンツ(音声読み上げソフト対応)	<input checked="" type="checkbox"/>
42. その他/備考	無し	<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

## 【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	主題科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング	cxxG	
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) コンピュータと教育 その2				
	(英文名) Computers in Education second period				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩				
	(ローマ字) Toshihiro Hayashi				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必修区分／単位区分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	コンピュータと教育 その1
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	コンピュータと教育 その1
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	情報通信技術, CAI, e-Learning, 教育システム/ICT, CAI, e-Learning, Educational Systems				
21. 授業概要	近年、情報通信技術(ICT)を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	ICTを利活用する教育環境を単に利用者(学習者)として利用するだけではなく、これまでにはなかった21世紀型の新しい教育環境の特徴を深く理解するため、本講義で、近年発展してきたe-Learningなど情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習から、コンピュータと教育について学習する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標／学修課題	(1)教育・学習支援システムにどのようなものがあるか説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。 (2)支援システムの活用事例などを説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p><b>【授業計画】</b></p> <p>第1回目: 講義ガイダンス、「コンピュータと教育 その2」の講義で何を学ぶか?</p> <p>第2回目: 教育・学習支援システム(1): フレーム型システム</p> <p>第3回目: 教育・学習支援システム(2): ドリル&amp;プラクティス型CAIシステム</p> <p>第4回目: 教育・学習支援システム(3): ゲーム&amp;シミュレーション型システム</p> <p>第5回目: 教育・学習支援システム(4): アドリブ型・情報検索型・質問応答型システム</p> <p>第6回目: 高度教育・学習支援システム(1): 知的CAIシステム</p> <p>第7回目: 高度教育・学習支援システム(2): いろいろな高度教育システム</p> <p>第8回目: 高度教育・学習支援システム(3): 協調学習支援システム</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますのでご注意ください。</p> <p>※コンテンツ更新に伴い、内容などに変更が生じた場合は、第1回目の講義ガイダンスで説明します。</p> <p><b>【学習の方法】</b></p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS (Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	各回の課題(8回:各最高10点)と最終課題(1回:最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満の場合は得点に関わらず不可とする。		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	☑
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:無し</p> <p>2018年度以前に「コンピュータと教育」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>締切間際で提出される課題にファイル名の不備やファイルそのもの間違いが多発しており、課題が受</p>		☑

	理できないケースも多くなっています。締切後の再提出は認めていませんので、よく確認して余裕を持って課題提出ください。					
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucl.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucl.kagawa-u.ac.jp/</a>			<input type="checkbox"/>		
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	無し	<input checked="" type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>		
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	日時: 金曜1時限目 場所: 幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室 不在時は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	(zoom等web会議システムで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>		
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>		
40. 教員の実務経験	無し			<input type="checkbox"/>		

41. バリアフリー対応	電子テキスト型コンテンツ(音声読み上げソフト対応)	<input checked="" type="checkbox"/>
42. その他/備考	無し	<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	主題科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング	cbeG	
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 人工魚礁の開発と環境保全				
	(英文名) Development of Artificial Reefs and Environmental Conservation				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 末永 慶寛				
	(ローマ字) Suenaga Yoshihiro				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必修区分／単位区分	無し	
14. 対象学生	1～3年全学部		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	1・2・3年次／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特に無し	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	特に無し
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	特に無し
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	人工魚礁, 流動制御, 環境改善, 資源生産力 Artificial Reef, Current Control, Environmental Improvement, Resources Productivity				
21. 授業概要	我が国沿岸海域における水産資源生産力の向上のための施設として、様々な人工魚礁が開発されてきた。本講義では、人工魚礁開発の歴史と人工魚礁の有すべき水産資源生産力向上および環境改善機能について、実海域における具体例を挙げながら解説する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	主に瀬戸内海を中心として、人工魚礁の開発にまつわる歴史、求められる機能、設計コンセプトおよび実海域における生物資源増大に資する効果に関する知識を得ることが本授業の目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標／学修課題	本講義を受講することにより、以下の項目を説明できる。 1.人工魚礁の歴史、役割 2.人工魚礁の流動制御機能 3.人工魚礁の実海域における生物資源生産力向上効果 4.地場産業との共同研究による技術の実用化 5.SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)																						
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>※授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス(授業内容の概要説明を含む)、人工魚礁開発の歴史</li> <li>2. 人工魚礁の安定性</li> <li>3. 人工魚礁の流動制御機能</li> <li>4. 人工魚礁の生物蛸集機能</li> <li>5. 人工魚礁の藻場造成機能</li> <li>6. 人工魚礁の環境改善機能</li> <li>7. 大学と地場産業との連携による実用化の事例</li> <li>8. 期末レポート</li> </ol>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。</p> <p>自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)</p>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
28. 成績評価の方法と基準	<p>4回的小テストを計40点満点、期末レポートを60点満点で評価し、合計60点以上を合格とする。なお、小テストの受験(提出)回数が3回未満の場合は、期末レポートの提出資格を与えない。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し			<input checked="" type="checkbox"/>																	
	連携大学学生向け	無し																				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学200名・徳島大学50名・鳴門教育大学50名・高知大学50名・愛媛大学50名</p>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
教科書1	書名																					
	ISBN		著者名																			
	出版社		出版年																			
	金額		備考																			

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	閉鎖生態系・生態工学ハンドブック			☑
		ISBN	978-4-904419-57-1	著者名	大政, 竹内, 末永, 菊池ら	
		出版社	丸善出版	出版年	2015	
		金額	¥5,060(税込)	備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	<a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa</a> にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				☑	
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	☑		
37. 教員相互参観授業公開日程					☐	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(suenaga.yoshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			☑	
	連携大学 学生向け	電子メール(suenaga.yoshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			☑	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	suenaga.yoshihiro@kagawa-u.ac.jp			☑	
	連携大学 学生向け	suenaga.yoshihiro@kagawa-u.ac.jp			☑	
40. 教員の実務経験	建設業, コンサルティング, サービス業等の実務経験を有し, その経験を活かして構造物の設計, 施工, 環境影響評価および実用化に至る「ものづくり」の基礎を教育している。				☑	
41. バリアフリー対応	無し				☐	
42. その他／備考	無し				☐	